



MAGAZINE

記事を探す



TOP > 名優マガジン > 導入事例 >

ICUのX線カセット挿抜で、患者を持ち上げず1人作業化したホバーマットの導入事例

導入事例

ICUのX線カセット挿抜で、患者を持ち上げず1人作業化したホバーマットの導入事例

2026.06.21 #X線カセット #ホバーマット



900床規模の大学病院ICUでは、朝1回のX線撮影時に、患者を持ち上げずにX線カセットを挿抜したいという課題がありました。スタッフ1人

でも作業しやすく、患者の負担軽減にもつながる点を重視し、ホバーマ
ットを採用した事例です。



導入先	900床規模 大学病院 ICUの看護師
使用場面	朝1回のX線撮影時
目的	患者を持ち上げずにX線カセットを挿入したい

1. 事例のご紹介
2. 許容したこと・注意点
3. 使用製品

事例のご紹介

900床規模の大学病院ICUでは、朝1回のX線撮影時に、患者の下へX線カ
セットを挿入する作業が発生していました。従来は患者を持ち上げる必要
があり、スタッフの腰痛リスクや患者の皮膚への負担が課題でした。

選定にあたっては、スタッフ1人でもX線カセットの挿抜ができること、患者
を持ち上げずに作業できること、挿抜時の患者の痛みや皮膚への負担を抑
えられることを重視しました。

ホバーマットは、患者を持ち上げずにX線カセットを挿抜できる点が評価さ
れました。導入後は、スタッフの腰痛リスク軽減に加え、無理な挿抜による
患者の表皮剥離リスク軽減にもつながっています。

許容したこと・注意点

- 目視ではX線カセットの位置が分からないこと
- ホバーマットの上から触れて、カセット位置を確認する運用が必要になること

使用製品

製品名：ホバーマット

採用品番：HVR-HM34SPU-1（ホバーマットFULL34&エアサプライ）

この事例での役割：ICUでのX線カセット挿抜を、患者を持ち上げずに一人でできる作業に

製品ページ：<https://meilleur.co.jp/product/hovermatt/>

よくある質問

Q X線カセット挿抜でホバーマットを使う価値は何ですか？

A. 患者を持ち上げずに挿抜しやすくなり、スタッフの腰痛リスクや患者の皮膚への負担を抑えやすい点です。

Q 使用時の注意点はありますか？

A. 目視ではカセット位置が分からないため、マットの上から触れて位置を確認する運用が必要です。



[＜ 前の記事](#)

[次の記事 ＞](#)

[一覧に戻る](#)



[製品カタログ一覧](#)



[お問い合わせ](#)